

# 東海鉄道OB会報

第9号

平成19年4月



揖斐川堤の桜 柏 昌孝（関ヶ原支部）

## 目次

- 平成十九年度  
東海鉄道OB会基本方針（案）…………… 2
- 伊勢支部における平成十八年度の  
趣味同好会活動を顧みて  
伊勢支部事務局長 村林隆吾…………… 2
- 支部発足五十周年記念  
「我が家のお宝展」盛況裏に終わる  
沼津支部長 赤羽隼雄…………… 4
- 静岡支部六回目の初詣では熱田神宮参拝  
静岡支部副支部長 大村年璋…………… 4
- 「カラオケ同好会」の立ち上げ  
守山支部副支部長 黒田兼一…………… 5
- わが支部の活性化と老化防止  
笠寺支部長 二村昌土…………… 5
- JR東海トピックス…………… 6
- グループインフォメーション…………… 9
- 読者のひろば…………… 11
- 駅探訪／「会報への寄稿、  
文芸欄への投稿」要領／編集後記…………… 16

### 平成十九年度 東海鉄道OB会基本方針(案)

東海鉄道OB会が発足して満二年が経過し、会員一同の理解と協力を得ながら、また、JR東海はじめグループ各社の物心両面に亘る協力を頂いて平成十九年度を迎えることができました。

本年度は、JR退職者が入会し易い自主自立した組織の充実、特に支部活動の活性化を図り、行動のできるように進めなければなりませんので、この基本方針(案)を平成十九年度の本部総会に付議し、審議していただく予定にしています。

#### 基本方針(案)

- 東海鉄道OB会の組織の充実
- 会員相互の親睦、特に支部活動の活性化
- 会員増強運動、特にJR退職者の入会促進
- 東海旅客鉄道株式会社及び関連グループの事業への協力、特に増収協力活動の推進
- 東海鉄道OB会報の充実

### 伊勢支部における平成十八年度の 趣味同好会活動を顧みて

伊勢支部事務局長 村林隆吾

景気拡大は、いざなぎを越えたというものの、なぜか明るくない世情の下、伊勢支部の一年間は古くから続いている恒例の行事を、所属会員の理解と協力により、立派に継続することができました。

伊勢支部の基本目標である会員相互の親睦と、

福祉の増進を具体的に役員会で討議し、総会に提案して順次実施し、その趣味同好会活動を中心に振り返ってみました。

#### ● 月一回の歩こう会

自然や歴史を楽しみ、さわやかな汗を流し運動不足解消を目的に、平成十一年二月十八日にJR現職の方もお誘いして始まった歩こう会は、平成十九年三月で第九十五回となり、平成十八年度も殆ど毎月開催し、延べ二百七十名(一回平均二十五名)が参加して、前年度を若干下回りましたがこのうち何回かはJRに対する増収協力活動を兼ねたものになっています。

特筆すべきは、昨年十月のJR青空フリーパスを利用し「中山道垂井宿と南宮大社」コースを実施した折には、垂井駅頭に「東海鉄道OB会」の腕章をつけた地元垂井支部の方々の出迎えを受け、しかも全行程の案内や要所の説明までしていただき、長い道程を歩き通すことができました。

参加者全員感謝、感謝。参加した遺族会員の話「見ず知らずの土地に来て、初対面の皆さんがこんなに親切にしてください。さすが鉄道OB会」

#### ● グラウンドゴルフ

平成十三年、当時のゲートボールグループが自然消滅状態になった折りに始まったグラウンドゴルフは、当初の月一回が回を重ねて月二回、現在では月三回の開催になっており、平成十八年度末で百二回を数え、年度中の参加人員は三百九十二名(一箇月平均三十五名)となっていますが、伊勢市関係箇所のご配慮により施設や道具を無料提供していただいていることもあり、回を追って盛んになっています。

これに伴う傷害保険は、当初支部負担としていましたが、回数、参加者も多くなり予算をオーバーするため、開催回数も制限されることから、保険料

は参加者の同意を得て個人負担としました。歩こう会はその都度、グラウンドゴルフは年間の契約として今日までできています。

支部負担はなくなり個人負担となっても趣味同好会活動は活性化し、順調に開催しています。

#### ● 物故会員に対する慰霊法要

伊勢志摩地方の最高峰朝熊山にある金剛証寺奥の院での物故会員の慰霊法要は、平成元年九月遺族会員が中心に営まれて以来支部行事の一つとして、毎年欠かさずに挙行しております。

平成四年には、物故会員の実名を記した過去帳を作成するなどして十八年間秋の彼岸に相営み、寺の年間行事の一つに数えられています。



平成十八年度は、九月二十一日に二十七名の参詣者で執り行いました。当日は午前十時集合、この一年間に亡くなられた会員十六名が過去帳に加えられ、住職の読経の中、全員が焼香し故人の冥福を祈った後、住職の次のような法話を聞き寺を後にしました。

#### (住職の法話の概要)

このような法要は永続きしないものだが、鉄道OB会の伊勢支部は過去帳も作成され、毎年秋の彼岸には法要を営まれておられる。この法要を企画、実行された方は存じ上げないが、大変立派な方だと思います。また、この法要を途絶えることなく受け継がれる皆様方も立派です。どうかこれか

● 展示保存SLの清掃奉仕活動



伊勢市近くの玉城町に展示保存されているC58型SLは、毎年春と秋に清掃奉仕活動を続けています。平成十八年の秋の清掃は、九月三十日(土)に実施しましたが、今回は久しぶりに全面塗装をすることになったので、この展示SLに特に理解を示されている辻村玉城

町長をはじめ、地元SL愛好家の方二名と二十六名のOB会員により作業が始められ、やがて作業が終わったSLは昔の姿を取り戻しました。

光り輝くSLを見て町長からお礼の言葉をいただきましたが、当日は地元のテレビ局や各新聞社の取材があり、翌日の新聞には写真入りで「東海鉄道OB会と愛好家でSL清掃久々に全面塗装」と紙面を飾り、テレビでも放映されました。

● 会員の情報誌「伊勢版」

東海鉄道OB会の発足で、三箇月毎に発行の東海鉄道OB会報が発刊されましたが、従来からの支部独自の情報源として毎月発行していた鉄道OB新聞の伊勢版は、今後必要であるとして継続を決定し、今日に及んでいます。

現在の伊勢版の発行には、毎月四十名程の会員が編集、仕分、配達に携わり、発行回数も平成十八年度末で二百六十四号となり、二十二年間継続して発行することができました。

継続して発行、配達するためには担当の役員の補充が重要であり、去る十二月期役員会では欠員中の役員、健康上に問題を抱える役員の補充案を作成し、平成十九年度の総会で承認を得て活動する新体制を整え、会員への情報伝達が途切れることのないようにしております。

なお、平成十八年度における伊勢版への奉仕活動には、延べ四百六十名の多くの方が参加しました。

● 支部独自の親睦旅行

趣味同好会とは別に、支部独自で年一回JRに対する増収協力活動としての親睦旅行を、ジェイアール東海ツアーズの手配で実施しています。

平成十八年度の旅行は、二十五名募集のところ二十四名の参加者があって、貸切バスによる乗鞍上高地方面に向け十月二十六日出発し、好天に恵



まれた奥飛驒の紅葉などを最高の条件で楽しみ、懇親会も大いに盛り上がり無事終了することができましたが、年々常連の参加者が減少することが一抹の寂しさを覚えます。

● 支部総会

平成十八年度の支部総会は、例年ですと五月中旬の土、日曜日での開催のところ、会場の都合から五月三十日の火曜日となったことで、出席者は八十四名と少く顔触れも多少違っていた感がありました。また、次の年の総会が支部創立三十五周年になることから行事の一部先送りもあつたりで、やや期待はずれがあつたかもしれませぬ。

平成十九年度の支部総会は、五月十二日の土曜日開催に戻し行事の内容も記念総会に相応しいものにする準備をしております。

● 支部の現況など

現在の会員数は、平成十九年三月三十一日現在準会員を含み次のようになります。

90才代	14名 (2%)
80才代	163名 (26%)
70才代	313名 (49%)
60才代	129名 (20%)
50才代	16名 (3%)
総数	635名

この結果、八十才代と七十才代の会員が七十五パーセントを占め、この高齢化が今後の支部運営に大きく影響します。

伊勢支部としては、会員増強のためJR退職者の加入勧誘に努めるとともに、支部全体のより活性化を目指して行く所存であります。

なお、平成十八年度の支部活動参加者は、延べ千三百五十二名(役員会六十九名を含む)に達し、月平均百十名余となっております。

### 支部発足五十周年記念 『我が家のお宝展』盛況裏に終わる

沼津支部長 赤羽雄雄

当支部は昭和三十二年一月発足、今年一月に五十周年を迎えたので、その記念企画として、過日

- ①「沼津支部五十周年ロゴ入り07カレンダー全会員配布」
- ②「JR東海「さわやかウォーキング参加」
- ③「地震防災センター及び県庁・警察本部社会見学旅行」などを行い、
- ④十月三十日から十一月五日に亘り、沼津駅ビルアン

トレ内ギャラリーにおいて芸術の秋、文化祭を兼ねた『我が家のお宝展』を開催した。

展示品目は、自作の竹花器、写真、油絵、日本画、押絵、ちぎり絵、掛軸、石細工ふくろう、川柳、釈迦模写絵画や復元蓄音機等会員・家族の作品に加え、沼津城瓦、古き懐かしの鉄道関連の品々、D52SL前照灯・尾灯、ロッキングハンドル、底が擦り切れた穴あきの古い投炭片手シャベル、機関士腕章の他、遠方・通過・出発各信号機の腕木、旧型電車の行先表示板、多数の記念切符、鉄輪入り法被、駅長制帽、サボ、合図灯、カンテラ等に加えホックス・フェイスと赤米、黒米の稲穂が会場に彩りを添え、展示品は百余点数えた。

来場者は沼津市長、新聞記者、静岡ターミナル開発(株)社長、地本事務局長を始めとして一日当たり最高六百九十六名、一日平均六百二十名、昼間帯は主として会員及び家族、出展者の知人や新聞記事を見て県東部各地より電車で駆けつけた方々、出張帰りや鉄道関連の退職者や家族、国鉄に勤務した亡き夫を偲んでの来展者数名、鉄道マニアなど。二十時までの夜間帯は、通勤、通学者がアントレご配慮の大きなPR看板に誘われて観賞に訪れた。

観賞者注目度の第一は絵画、写真等自慢の発表作品だったが、市長、新聞記者、マニア、鉄道出身者は鉄道に纏わる品々に関心が高く、又マニアからの国



鉄・JR全般に涉る長い質問攻めには担当説明員も参った次第だ。また、全長二米の掛軸二点出展の九十二歳の婦人会員、闘病の中、制作途中で逝去された五十号油絵「斗争」の遺作品、部外者より飛び入りで珍しい鉄道写真、器材提

供も三点あった。短冊の川柳十首は関心を呼び、書き留める人、写しの提供を求める方も多く、急遽印刷配布した。展示品を買い取りたいとか、写真に取めたい方も多く、OB会活動の現況などを訪ね「熱海駅で清掃業務をしていたが、入会できないか」「観ましたよ」など、多くの方より声掛けや励ましがあつたり、会員、家族、知人等や多くの皆様に親しみの戴けた展示会であつた。

最後に多々ご心配下さつたアントレ西島支店長・社員ご一同様や出展者、準備、日々担当説明員、会員・家族のご協力を心よりお礼申し上げます。

### 静岡支部六回目の初詣では 熱田神宮参拝

静岡支部副支部長 大村年璋

平成十四年から毎年初詣でを実施している。毎月第二木曜日十七時より約一時間部会(クラウンドゴルフ部・ウォーキング部・囲碁部・旅行部・俳句部・ゴルフ部)を開催して、最近の諸情勢、支部だより掲載

記事、行事等の打合わせをする話し合いの中で初詣での場所も決定した。

一月十九日(金)ジェイアール東海ツアー主催の大型バスに定員の四十四名が乗車し、静岡駅南口を定刻の八時に出発した。当日は無風快晴で春を思わせる陽気、途中浜名湖SAで小休止し熱田神宮へ直行。静岡支部の平均年齢が八十歳と高齢であるが、(参加者もそれに近い)皆豊饒として元気に熱田神宮参拝と名古屋城を見物した。



昼食は、堀内東海鉄道OB会長の紹介で木曾路徳川店(名古屋市中東区)に到着。堀内会長ご夫妻のお出迎えをいただき、早速会長を囲み懇親昼食会を開催し、会長が静岡鉄道管理局長時代の色々なエピソードや当時の行事等の懐かしい話に花が咲き時間が過ぎるのが早く、ご夫妻にお見送りをいただき名残りを惜しみつつお別れした。

観音に参拝、参加者は孫に土産を買い、十六時に静岡への帰路についた。車内では毎月実施しているクラウンドゴルフ・ウォーキング・囲碁・四半期に一度実施しているゴルフコンペ・来年の初詣での場所等の話で和やかな一日を過ごし、所定時刻の十八時三十分静岡駅南口に到着、お互いの健康と再会を約束し家路についた。

(JR東海取扱金約二十一万円)

## 「カラオケ同好会」の立ち上げ

守山支部副支部長 黒田兼一



過ごしました。

ご紹介の機会を少し頂きましてご案内いたしますが、まだ目新しいこの同好会の経緯は、昨年八月頃会員の中から「自主的なカラオケ同好会を作ってはどうか？」と云う声が上がりました。

鉄道OB会の組織の中で「カラオケ同好会」は、まだ数少ないのではないかと、若干不安がありました。同じ名古屋市内の千種名東支部、笠寺支部では、カラオケクラブを結成して効果を挙げているとの情報もあって、会員のニーズに沿うことも大事なことで立ち上げの準備に入りました。

過去にOB会員の会合等の後でカラオケを実施したことを思い出し、とりあえずその中からお誘いをしたところ、直ちに十名の賛同者があり、昨年十月三日に記念すべき第一回目を開催することができ現在の「ヘサン会」が誕生しました。

また、折角立ち上がった会なので、できる限り永続

きできる願いを込めて全員による「申し合わせ事項」を作成しました。

### 「申し合わせ事項」

- 一 この会を、守山支部カラオケ同好会「ヘサン会」という。
- 二 世話人二名を置くこととし、会の開催を二ヶ月に一回定期的にを行う。
- 三 歌唱方法、会場の誘致、カラオケに関する情報交換等、会員相互のコミュニケーションの活性化。
- 四 開催日は開催した日に次回の日時等を確定する。

以上を基準として、今後更にこの会の有意義性をPRしながら、会員の拡大に頑張っていきたいと思っております。

## わが支部の活性化と老化防止

笠寺支部長 二村昌士

梅が咲き、早生の河津桜もいまが盛りで満開の花便りが流されています。

春は、若者のみならず我々シニアにも心がわくわくする季節です。しかし、この冬は、暖冬のせいか寒さを感じないまま春が来たような気がします。

東海鉄道OB会が発足して既に二回目の新年を迎え、四月からはよいよ三年目の新しい年度が始まります。さて、名古屋の桜の開花はいつ頃になりますか、大高緑地公園のソメイヨシノの下で花より団子。地元蔵酒「鷹の夢」・「神の井」のしぼりたてを嗜みながら、お花見からスタートしたいと思えます。

三年前に笠寺支部長を引き受け今年三回目の新年になりましたが、元旦生まれの私は、年の初めに古希を迎えました。「人生七十歳古希なり」といいますが、

日本人の平均寿命が八十歳を超えた今日、健康で気力もあまり衰えていない私には「古希なり」という言葉にあまり実感がわいてきません。

数年前に、中日文化センターの三十周年記念講演で、当時二週間後に九十歳の誕生日を迎えられる聖路加病院の日野原理理事長の、「高齢者と老後の生き方について」と題した話を聴く機会がありました。九十歳直前のご高齢で一時間三十分舞台に立ったままの熱弁でありました。お話の中に「六十五歳は高齢者ではあるが老人ではない。新老人は七十五歳から、それまでは現役の時代。」それが老化防止に一番役立つと言われた言葉がいまでも耳から離れません。わが国の、少子化と高齢化はどんどん進み、大きな社会問題になっています。同時に、年金問題と関連して企業では定年延長の問題も現実化してきており、まさに現役延長時代の始まりです。

さて、笠寺支部も、年々高齢化は進んでおりますが、東海鉄道OB会の発足の年に、八名の新規の加入がありました。これを機会に幾つかのレクリエーション活動（グラウンドゴルフ、カラオケ、お花見、日帰り旅行等）を取り入れ活性化を進めてきました。お陰様で参加者も徐々に増え定着してきております。さらに、四半期毎に「笠寺支部だより」を発行し、東海鉄道OB会報と一緒に各家庭に配布し、情報の早期伝達を行ってきました。

このような活動が認められ、昨年は名古屋地方本部長から団体表彰を受けることができました。会員一同大変な喜びと共に感動をしております。

新年度に向けては、愉快に楽しく、何事にも積極的に参加して「八十五歳までは、元気でしょう。」を合言葉に、心も体も老いることなく支部の活性化と老化防止に取り組みたいと思えます。

# JR東海ト

# ピックス

JR東海の社内誌「おれんじ」1月～3月号の記事を抜粋して掲載しています。

東海鉄道事業本部

## さらに利便性が向上

### 3月18日ダイヤ改正

当社は3月18日にダイヤ改正を実施します。主な改正点は以下の通りです。

#### ○静岡地区を中心に、313系新製車両を投入

平成18年10月のダイヤ改正で名古屋地区の東海道本線に72両の313系新製車両を投入したのに続き、静岡地区(東海道本線・御殿場線・身延線)に103両、名古屋地区(中央本線・関西本線・飯田線)に29両をそれぞれ投入します。これにより在来線全体で204両の313系新製車両が出揃います。

#### ○静岡地区の東海道本線で、列車を増発し利便性を向上

沼津・静岡・浜松の各都市圏を中心とした近距離列車を増発する他、三島・静岡・掛川・浜松の各駅で新幹線との乗り換えをよりスムーズにします。一部区間では新形式車両への統一化に伴い時間短縮を図ります。

また、静岡～浜松間のホームライナーを1往復増発します。朝は浜松から静岡方面に2本、夜は静岡から浜松方面に4

本の運転になり、毎日の通勤・通学でより便利にご利用いただけます。

#### ○東海道本線に「野田新町」駅が開業

東海道本線・東刈谷～刈谷間に「野田新町(のだしんまち)」駅が開業します。平日～日あたり、上り～28本の列車が停車します。

#### ○特急「しなの」の金山駅への停車拡大

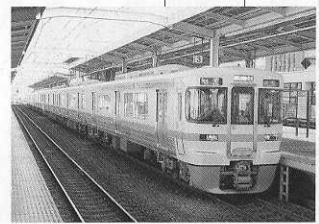
中央本線では、名古屋発17:18時台の特急「しなの」2本が新たに金山駅に停車します。

#### ○飯田線と特急「あずさ」との接続改善

飯田線では、普通列車の時刻見直しにより中央東線の特急「あずさ」との接続を改善し、東京方面への利便性向上を図ります。

#### ○特急列車等の禁煙車両拡大

特急「しなの」・「しらさぎ」の禁煙車両をそれぞれ一両ずつ増やす他、特急「ぶじかわ」・「伊那路」及び快速「ムーンライトながら」の全車両を禁煙とします。また、これらの特急車両を使用しているホームライナーでも禁煙車両を拡大します。



三島	沼津	富士	興津	静岡	島田	掛川	浜松
毎時4本 ↓ 5～6本	毎時5～6本 ↓ 6本	毎時5～6本 ↓ 6本	毎時5～6本 ↓ 6本	毎時5～6本 ↓ 6本	毎時5～6本 ↓ 6本	毎時4本 ↓ 4～5本	毎時4本 ↓ 4～5本

新幹線鉄道事業本部

## いよいよ投入！N700系

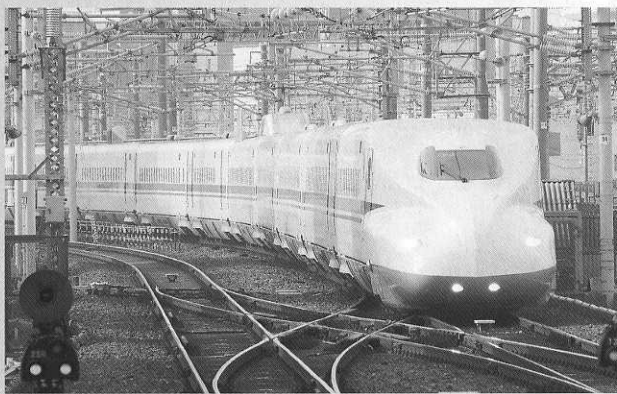
### 7月1日ダイヤ改正

東海道新幹線では7月1日にダイヤ改正を行い、N700系新製車両の営業運転を開始します。

N700系は、まず8本の「のぞみ」に投入します。その後も順次N700系で運転する「のぞみ」を増やし、平成19年度末には30本以上とする予定です。早朝と深夜の列車では所要時間を短縮し、東京～新大阪間を最速2時間25分で結びます。

また、品川6時始発の「のぞみ99号」博多行き(N700系)を新設し、新大阪に8時19分着、新神戸に8時34分着など、各地に現在の「のぞみ1号」より一層早く到着できるようにします。

この他、朝の上り及び夜の下り「のぞみ」を増発し関西～名古屋地区から首都圏への利便性を高めるとともに、朝8時台に新横浜に停車する上り列車を増やして新横浜への利便性を高めます。なお、N700系では全座席を禁煙にします。



### ◆ JR東海トピックス ◆

東海鉄道事業本部

## 4年半ぶり、当社在来線12番目の新駅

### 野田新町駅開業

3月18日、ダイヤ改正に合わせて東海道本線・東刈谷〜刈谷間に「野田新町（のだしんまち）」駅が開業します。この駅は地元刈谷市の要望で実現した請願駅で、JR発足後の当社在来線の新駅としては、平成14年9月開業の御殿場線「長泉なめり」駅以来4年半ぶり、12番目の新駅となります。

新駅は自由通路を併設した橋上駅タイプで、2面2線相対式ホームの駅員配

置駅です。また、エレベーター及び多目的トイレを駅舎・自由通路にそれぞれ設置するなどバリアフリーにも配慮しています。

周辺では工場などが建ち、土地区画整理事業も施行され市街化が進行しつつあります。野田新町駅が地域の皆さまに親しまれ、多くのお客さまにご利用していただけることを期待しています。



▲野田新町駅完成イメージパース

新幹線鉄道事業本部

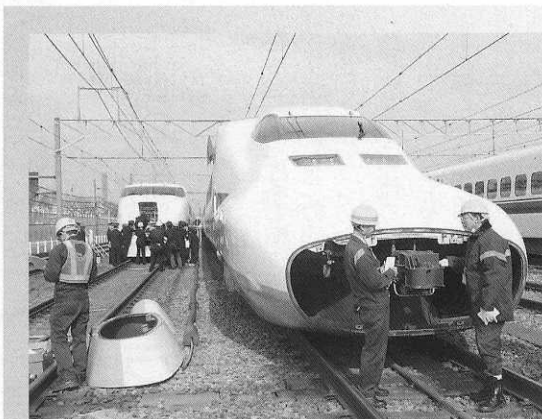
## 総合力アップ

### 新幹線総合事故復旧訓練

12月6日、通算19回目の開催となる新幹線総合事故復旧訓練を東京第二車両所構内で実施しました。

今回の訓練は、各系統間の連絡協調体制と事故復旧即応体制を充実させ、あわせて協力会社も含めた関係社員の技術力向上と若手社員への技術継承を図ることを目的としたもので、協力会社も含め915名が参加しました。

当日は冬晴れのもと、被害車両に通常の連結ができない場合に保守用車で救援するための中間連結器装着訓練、大型クレーンが搭載された復旧用機材運搬車により、脱線した保守用車を吊



り上げ載線する訓練、架線の張力を保つ装置の部品が破損したことを想定した復旧訓練など、今回初めて行う訓練を含め28項目の訓練を行い、参加者は日頃の成果を発揮することができました。



▲▶訓練の様子

### ◆ JR東海トピックス ◆

関西支社

さらに便利に!!

## 京都駅新幹線八条東口オープン

12月11日、京都駅に新幹線八条東口がオープンしました。これで、駅東方面及び地下鉄からご利用になるお客さまが八条口へ迂回する必要がなくなり利便性が向上しました。

オープンを記念して11日にオープニングセレモニーを開催、杉本関西支社長他6名でテープカットを行いました。事前に告知したこともあってか、多くの方々



▲テープカットの様子



▲挨拶する杉本関西支社長



▲オープンした京都駅新幹線八条東口

にお集まりいただき、地元のテレビや新聞にも取り上げられました。また、より多くのお客さまに新幹線八条東口を知っていただきご利用いただくため、各改札周辺でノベルティの配布を行いました。京都駅では平成17年7月以降、さらなる利便性向上のため旅客設備改良を行っています。今年3月の工事を完了に向け無事故で取り組むとともに、関係者一同、今後とも国際観光都市・京都の玄関口にふさわしい、使いやすい駅づくりに努めていきます。

硬式野球クラブ事務局

目指せ「連続出場・日本一」

## 硬式野球クラブ 平成19年試合日程

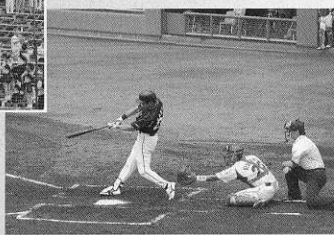
平成19年の硬式野球クラブの試合日程が決まりましたのでお知らせいたします。

昨年は多くの皆さまのご声援に支えられ、2年ぶりとなる東京ドームへの出場を果たすことができました。今年さらに新戦力を加え、全員野球で一丸となり「日本一」を目標に戦ってまいります。

社員・ご家族の皆さまには、ぜひとも各大会が開催される球場に足を運んでいただき多くのご声援を賜りますようお願い申し上げます。

### ■ 家接監督のコメント

日頃より野球クラブに対して温かいご支援・ご声援を賜りまして心より感謝申し上げます。昨年はドーム出場を果たし、スタンドの皆さま方と一体となって戦えるという感動を得ることができました。しかしながら目標であった「日本一」を達成することができませんでした。今シーズンは改めて「連続出場・日本一」という目標を掲げ、レベル向上に努めていきたいと思っております。ご支援・ご声援の程よろしく願いたします。



### ■ 平成19年参加大会予定表

大会名	期日(予定)	場所
静岡大会	4月 6日~10日	県営草薙球場他
岡山大会	4月20日~24日	倉敷市営球場他
ペーブルス杯大会	5月 3日~ 6日	岐阜長良川球場他
都市対抗野球大会 東海地区予選	予選リーグ戦 6月 9日~17日	岡崎市民球場
	予選トーナメント戦 6月23日~ 7月5日	岡崎市民球場
北海道大会(注)	7月26日~30日	札幌円山球場
高山大会(注)	8月 3日~ 6日	高山中央公園他
都市対抗野球大会	8月25日~ 9月5日	東京ドーム
日本選手権大会東海地区予選	9月29日~10月8日	岡崎市民球場
伊勢大会	10月19日~23日	伊勢倉田山球場
JR大会	10月開催予定	(未定)
愛知県野球連盟会長杯大会	11月 1日~ 4日	トヨタグラウンド他
日本選手権大会	11月21日~28日	大阪ドーム

※ 大会期日については、変更となる場合があります。  
※ (注) 都市対抗野球大会東海地区予選で代表となった場合、北海道大会もしくは高山大会に出場します。



# ///グループインフォメーション



今シーズンもチャオで  
パウダースノーをお楽しみください  
**飛騨森林都市企画(株)**



▲チャオ御岳スノーリゾート



当社は、冬はスキー場の運営、夏は高地トレーニングの宿泊営業、乗鞍山荘の運営受託を行っています。今年もスキーシーズンが始まり、忙しい日々を送っています。

今シーズンは12月5日にオープン。キッズパークをリニューアルし、お子さまでも安心してご利用いただけるムービングベルト（動く歩道）が登場。そり遊びやチュービングが一層楽しくなりました。


また、新雪が降った際には3月まで、センターコース約1,800mを『パウダーゾーン』として開放。チャオ自慢のパウダースノーが思う存分楽しめるようになりました。さらに3月までの毎週末にファミリーイベントを開催していますので（1/20・21、3/21は除く）、ぜひご家族で参加してみてください。



▲▼乗鞍山荘



今シーズンもゴールデンウィークまで営業する予定です。営業終了まで社員一同、楽しくお客さまに喜ばれるスキー場作り及び安全管理に全力で取り組んでいきます。たくさんの社員・ご家族のご来場を心よりお待ちしております。



まもなく創業10周年  
**ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株)**

当社は、グループ会社の駅ビル等のビルメンテナンスを担う会社として、JRセントラルタワーズ開業前の平成9年に発足し、まもなく10周年を迎えます。

設立当初は「清掃」業務からのスタートでしたが、タワーズの開業を機に「設備管理」、「駐車場管理（警備業）」等の業務を本格的に行うようになり、社名の通り「総合ビルメンテナンス」を行う会社として成長してきました。これらの業務の他に「マンション管理」、「受付」等も行っています。

当社の基本方針（ISO9001）は

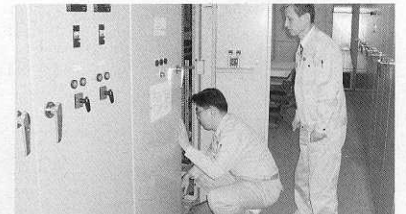
1. 顧客の要求を最優先する。
  2. 安全、快適、正確なサービスを提供する。
  3. 顧客満足度の向上を目指し、サービスの改善を継続的に図る。
- を掲げております。

お客さまの様々なご要望に応えることが「総合ビルメンテナンス」の発展に欠かせないものであると考えています。サービス向上が「安全」への近道とい

う信念のもと、社内でKYT発表会、ビルクリーニング競技会等の大会や研修を行い、基本方針遂行に努めています。

昨年、7月に開院した名古屋セントラル病院の設備管理業務を担当することになりました。病院の管理というのは、一般のビルの管理とは異なります。当社にとっても初の「病院」の管理であり、心を引き締めて対応していきます。

今後も様々な業務を遂行し、ビルオーナー等のお客さまから多種多様な管理を任せていただけるように努めていきます。



▲ホテルでの清掃・設備点検風景



▲中央監視システム



計画から保守まで一貫したコンサルティングを実践  
**ジェイアール東海コンサルタンツ(株)**

当社は、土木・建築構造物に関する総合コンサルタントを行う会社として、鉄道施設の調査、設計、施工監理、検査、保守に至るまでの一貫したコンサルティングを実践しています。具体的には、交通量調査、橋りょうや駅的设计、各種工事の施工監理、地形や地質を判読し災害を未然に防ぐ防災対策や、環境問題に関する測定・解析及び対策方法の提案などを行っています。

このように、鉄道輸送施設の基盤づくりの一翼を担い、JR東海グループの発展とともに地域社会に貢献していくことを目指しています。

また、JR東海の業務施設のメンテナンスや病院、共同住宅の設計を通じてJR東海社員やご家族の生活に密着した仕事にも携わっています。

今年で当社は発足10年目を迎えます。鉄道事業における長い経験により培われた高い水準の技術を承継し、お客さまの多様なニーズに対応した高い付

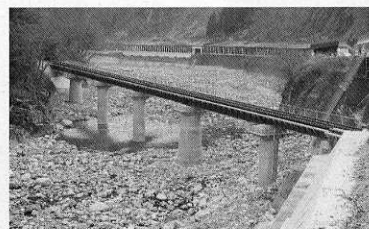
加価値を創造していくために、さらなる研鑽を積んでいきます。引き続きご支援をよろしくお願い致します。  
ホームページ <http://www.jrcc.co.jp/>



▲高架化した東海道本線・蒲郡駅



▲駅改良工事を行った武豊線・乙川駅



▲設計に携わった津田沼共同住宅（イメージパース図）

◀災害復旧工事を行っている高山本線・第9宮川橋りょう



2007  
SPRING

いつでも誰でも気軽に参加できる

# さわやかウォーキング

6/24日<sup>①</sup>まで好評開催中 土・日・祝開催

参加費無料  
一部のコースを除く

予約不要  
一部のコースを除く

駅がスタート!  
一部のコースを除く



名古屋・飯田地区

34コース

飯田線全通70周年  
記念ウォーキング開催!



静岡地区

23コース

春のさわやかウォーキング  
フォトコンテスト開催!



さわやかウォーキングに、  
便利でお得なきっぷ。

名古屋地区:青空フリーパス  
静岡地区:休日乗り放題きっぷ

※写真はイメージです。

開催については、JR東海の駅にある専用パンフレット又は、ホームページをご覧ください。  
JR東海ホームページ <http://jr-central.co.jp>

# 読者のひろば

## 面白健康談議

長泉支部 宇津木弘利

町の保健委員を仰せ付かって健康について知識を少し得た。その中で面白い話になる話を幾つか、病氣治療に関係ない話ですが記してみたい。

少し前医者からこんな話を聞いた。

○所用があつて玄関に「本日不在」と表示した。その内中年の婦人が来院「先生居ますか」黙っている。勝手口まで来た。玄関に何と書いてある。先生居るではないか。「お前なんか診てやらない。」こんな先生に診てもらうもんか。そう言つて帰つて行つた。

○ある日の午後おばあさんが息を切つて倅が苦しんでいる来て下さい。おばあさんの事で往診すると病人が居ない。病人は、と云うと「ハイ、今裏で二ワトリに餌をやっています。」

○雨の日後急患で往診を頼まれた。この雨だ車を廻してくれ。先生自転車がある筈だ。

○日曜の午後知人のおばあさんが往診を頼みに来た。年寄りなので往診に行くとおばあさん「この犬です。」

○夜中に近所の青年が胃がいれんで往診した。朝、庭先にいると昨夜の青年自転車で通勤。横を向いて通り過ぎる「オイ君」と云うと、「昨夜はどうも。」で通り過ぎた。

私の町に有名な作家で精神科の医者が居る。ある会合でこんな話、成程と感じた。参考迄に。

### 心と体

一人間意思のふれ合いを一家で朝起きたら誰でもよいお早うと云う事から一日の家族団らんが始まる。男の「アール」は駄目。

二夫婦でも子供でも叱られたら「ハイハイ」と軽く返事をしていけば良い。

三元気で長生きしている人は他人の云う事を聞かない。

四いい人だと云はれる人ほど先に死んでゆく。

五皮肉を云われても通じない人はストレスにも胃かのようにもかからない。

六体の中がどんなになつていくか知らないひと健康で元気。

七体から出る(排便・排尿)から食べられる。食べたから出るではない(要注意)

八体の中で一番強いのは頭、使えば使う程良くなる。

一番使う人でも脳の十パーセント。あと九十パーセントは遊んでいる。勿体ない話。

九頭のいい人とは何でも之をどうするかで決まる。

十医者の云う事を聞かない患者がいる。それでも医者へ来る。

私(九十二才)はよく会合でこの話をしてみんなの賛同を得ています。

## 危機一髪

千種名東支部 松下昭次

一月十一日、冬には珍しく朝から晴れて暖かい日中で、覚王山日泰寺へお参りと運動を兼ねて自転車に乗って出かけました。

午前十時三十分ごろ、日泰寺舍利殿前交差点にて青信号で、自転車を押しして横断歩道を数歩、歩いたとき、大型ダンブカーが左折して進行、運転手に目をむけ安全と思ひ歩行しかけたとき、私の直前に停止するべきはずのダンブの巨体が眼前に迫り、左前輪付近が私の自転車に接触、反射的に自転車から手を離し、後ろに逃げて間一髪セーフ。

運転手に指示し110番通報中、たまたま通行中の警官に状況を説明。

運転手は、一瞬死角になつたかもしれないが、小生の姿が見えなかつたと言っている。しかし、安全運転の自覚もなく無責任な言い訳は通用しないのは当然だ。

かすり傷ひとつ無かつたことは奇跡で、神仏の加護と思いたい。あわれ自転車は破損、もし私がペダルを踏んで通行していたら逃げ切れまい。大型ダンブの運転席は見上げるほど高いところにある。自分に落ち度はないと思うが、手を高く揚げてアピールするなど自己安全に配慮が必要だつたかもしれない。左折車に巻き込まれての事故の記事を、まま目にしますが、思うだにゾツとします。

歩行者も運転者も、他山の石として安全に十分気を付けて頂きたいと思ひます。

因みに、私のこの物損事故(自転車購入費、破損自転車の後始末等)は運転手負担で決着しましたが、このような事故が物損事故だけで終わるのは奇跡だと言われました。

私の周囲は自転車に乗ることをいろいろ言うけれども自らの健康のため、最大細心の注意と交通ルールを遵守することを肝に銘じて、乗りつづけたと思ひます。国鉄時代に、安全教育でよく言われました他山の石、300X運動、左右指差確認横断などを思い出しながら。

## 六十年前を思い出して

袋井支部 鈴木不次男

私はフィリピンのミンダナオ島から横須賀に入港し、極めてみすばらしい姿で帰って参りました。まだマラリヤがあつて二・三回発熱した事もありました。当時は私の家は田舎で百姓で、芋、米、塩も生産しておりましたから、自分の家での生活は困りませんでした。然し、買出しの人が毎日幾人も訪れてきました。私は体の関係で留守をしていて困りました。それは、ことわる事のむずかしさです。相手も遠くから汽車に乗ってわざわざ来るのですから、少しでも多くの品を買って帰りたいから必死です。

敗残兵あがりの私には誠に困つたものでした。それも自分がミンダナオ島で苦しんできたから尚更です。当時芋を種として暖かいところにいけておくと、それを夜間掘り出してもつて行かれ、これには困りました。来年の芋が作れなくなるからです。そこで集落に夜警をした位でした。私も廻りばんこですから出て夜回りするわけです。中には立派な、田舎では見たことも着たこともない着物、帯と交換して下さいと云う人も多くありました。お米一升で着物、帯と交換した人もありました。

又、塩は、私の処は海岸ですから、三々四人位の組で製塩しておりました。このような状況ですから集落の経済的状況は夢にもなかつた程でした。マラリヤで休んでいると訪ねて「塩を少しわけていただけないでしょうか」と親子連れが来ると、子供に私自身フィリピンで悲惨さを十二分に味わい、やっと帰って来た身ですから子供に可愛そうだと、つい分けてやると後で父母に叱られた事もありました。

その子供は、今は約六十年過ぎていますからど

うなっているかと想い出します。

何と云つても当時はお米、芋、塩、この三種類で農家は経済的には、めぐまれ、笑いがとまらなかつたと思ひます。

私も体が少し良くなつたから駅に行くと言つたら父が「駅をやめなさい」と、私は何んとしても復職したい一心で最後は親に「遊びに行つて来る」と云つては三日が一週、一週が一ヶ月と、とうとう復職しました。親には申し訳ありませんでしたが復職して良かったと思ひます。国鉄は給料は漏れもなく定給日には払つて呉れました。会社では給料の遅配などは当たり前でした。私は一時は申し訳ないと思つたが、良かったなと思ひました。

一方食糧も少しづつ改善され塩も大量に生産され農家の経済状態は前よりも悪くなりました。「百姓を喜ばしては日本の経済はもたない」と云つた人もある程でした。

国鉄に私達は救われた事を忘れてはならないと強く感じています。

## 世界の若者達の風景をスケッチする

身延支部 深沢 満

丘の中腹にあるホテルから朝の散歩に出ると舗装のない山道はい上がるように登る途中の集落に、クリクリ坊主に半ズボン、はだしで棒を持って、アヒルを追っている少年がいた。

後ろからついて行くと、小さな広場に井戸があり女の子の集団が水汲みをしていた。カメラを向けると水桶を置いて逃げてゆく。

東南アジアには今から七・八十年前前の日本の原

風景が今も生きていた。

イタリアのミラノで、やっと見つけたトイレから一人遅れて出てきたツアーの女性に、新聞を手に近づいて来た、プロンドの十五〜十八才位の可愛い顔の少女達がいた。

それはアツと云う間の出来事だった。二人の少女が前と後ろをプロックし、一人が女性の顔を手にした新聞で覆い女性のバッグをうばうと三方に散り逃げていった。

道端に一人ぼつんと座つて、木彫りの土産品を売っている黄色のTシャツを着た子供がいた。たつた一つの商品を片手に持つて「ダス10ルビー」と叫んでいたが、私達日本人のグループが通ると「ジャパニー20ルビー」と叫びだした。インド・ジャイパルのけだるい午後の時間が止まつたような風景であつた。

オランダの玄関スキポール空港地下のNS駅から、途中トラムに乗り換えてアンネ・フランクの家に行く車中は満席だった。空席がなくうろついている私の白髪頭を見て、学生らしい少女がプリーズと立つて席を譲つてくれた。ヨーロッパを旅行中、地下鉄等を利用すると若い青年や娘達が必ず席を譲つてくれる。

東京の山手線等で座席に浅く腰をかけ、足を投げ出して携帯に夢中の若者達とは対象的だ。

ペルー・マチャピチュ遺跡のある山頂から、終点アウトバコンの駅迄のつづら折りの道をバスが何度も折り返す曲がり角に、毎回先回りして急坂を駆けおり、片手をあげて、「グッバイ」と叫ぶ少年がいた。彼はこれが仕事で終点でバスに乗り込んでチップを集める。体力勝負のきつい仕事だが観光客に人気があり、ペルーではその稼ぎの良さでちよつとしたブルジョアだとか。「彼の名はグッバイボーイ」

「進徳幼稚園」と車体に書いた私達の乗つた中古

の日本製バスが故障し、坂下にへばりつくように建った家の娘が、手招きしているのに気付いて添乗員のKさんとその家を訪れた。

土壁に椰子の葉で屋根を葺いた三坪程の土間には炊事用のなべが一つだけ。板敷のベットの鶏が一羽ポツンとうずくまっていた。

Kさんの通訳による娘さんの話では、隣りの家は豚が一頭いるので彼女の家より裕福だが、トイレは下を小川が流れていて清潔なのが自慢だとか、私は下流のおばさんがその川で洗濯をしているのをほんやり眺めながら、添乗員のKさんの話しを聞いていた。

スリランカ・ヌツラエリヤの抜けるような青空の、一日一ドル以下で生活する人達の実態を垣間見た物語である。

### 洗脳して生きる

長泉支部 杉山安秀

私が旧制中学二年生の昭和十二年に、芦溝橋事変が勃発しました。勿論、学校教育は軍国主義のもと厳しいものでした。学校に将校が配属され、生徒監という部屋が在ってスパルタ式教育が行われました。態度、服装、言動などチエツクされ、殴る、蹴ることは常態でした。鬼より怖い存在でした。

私はこのような教育に疑問を抱き、学校や教師に対し名指しで激しく誹謗し、投書によって不満を爆発させました。暫くして、そして、突然、私は生徒監室に呼び出され、厳しく追求されて、認めました。

旧国鉄に勤務していた父は、職場から呼び出され、短気な性格の何時もの姿はなく、苦渋に満ちた足取りで帰ってきました。そして、職場の上司にも頼み、謝

罪に走りしました。

処分は、二週間の停学でした。家の外に出るな、と親から看視され、学校からは、毎日日記を書くよう、洗脳されました。

二週間が経ち、重い足取りで日記を持って登校すると、講堂には、全校生徒と教師が私を待っていました。担任から、皆に謝れ！と促され、指示どおり壇上から謝りました。このような、晒し者にされ、囚人扱いにされた屈辱は計り知れない心の傷を負いました。

この事件を境に学校からは無視され、学友からは警戒され、離れてゆき、私の味方になってくれる人はいませんでした。

父からは、余計なことを考えるな。と再三に亘って説教されました。明るく元気を取り戻してゆく為には、前向きな考えを持つことだ。と思うようになりました。

政府は己に、国家総動員法を公布し、昭和十六年、日本軍は真珠湾を奇襲攻撃して、米英に宣戦布告し、戦勝ムードに湧きました。

徴兵検査は二十才の年でしたが、結果に私は驚き、父は大変喜びました。今迄の不幸を吹き飛ばす程のものでした。それは、甲種合格というよりも、表彰を受けたことでした。即ち、「体格優良、士気、労力共二抜群ニシテ洵ニ壮丁の模範タリ」と言う内容でした。この事実は、痛みつけられた劣等感から脱皮した思ひになり、勇氣と自信を得ました。

国に殉ずることは、名譽であり、親孝行である。と、自ら自分を洗脳し、戦陣訓などは毎日暗誦してお教のように唱えました。出征当日は、母から千人針を渡され、私は遺髪を残しました。家の外には多くの部落の人が見送りに集まっています、お目出とう。の連発で、帰ってこいよ、とは誰一人言いませんでした。私は靖国神社で！と応えるだけでした。駅まで行列となって送られましたが、正に生きた死の葬列だと思いました。

小供の頃は戦争ごっこをして遊び、少年の頃は軍事教練やスパルタ教育をうけ、逸れることの出来ない宿命に「死ありて生あるを知れ」の美学を演じながら故郷を後にしました。

### 静岡の歩

兵第三十四連隊、四中队、軽機班として中国戦線に送られました。



### 「いいわ、いいわ」の悪い癖

西濃支部 澤邊邦雄

戦争に負けてから民主主義の世の中はこれで良いと思つてのことなのでしょう。日本では個人の意志の尊重、それが延いては他人にはお節介を焼かない、それが寛容精神と混同されているのか、他人の誤りに対して、余程の事がない限り、いや余程の事があつても、いいわ、いいわと見過ごすと言う悪い癖が蔓延しているように思われます。卑近な例では、自転車二人乗り、無灯火走行、はては自動車の酒気帯び、酔っ払い運転、これらは身近な例ですが、最近問題になっている、裏金に関する事件にしても、こんな例は当事県だけの問題と断じて良いでしょうか。

この事は、暫く外国で生活してみると、いろいろな面で、日本人の生活態度のルーズさを感じさせられ、顧みて忸怩たる思いにさせられることがあります。

ます。

ドイツの例ですが彼方では、自転車の二人乗りなど見たことはありません。それどころか雨降りに傘をさして自転車に乗る姿などは全く見かけたことがありません。雨降りには老若男女を問わず、雨衣を着用して乗っています。恥ずかしながら、私が小雨の日に自転車を出掛けようとしたら必死になって孫達にやめさせられました。それは私が傘をさして出掛けようとしていたためです。

日本では若い母親が自転車の前後に子供を乗せて更に背中に赤ん坊を背負って乗っているのを見かけたことがあります。誠に背筋の寒くなる思いでした。良く見かける例では、オートバイで走っている若者が、ヘルメットの紐を首筋にかけてヘルメットを背中に背負った形で疾走する姿を見かけ、なんと馬鹿げた可哀想な人だ、と感じることがあり、それが格好いいとも思う浅はかさは情けないことです。ドイツでは、乗車前に同乗者ともに防護服に身を整えてから出掛けヘルメットはきっちり頭に固定されるものを着用するので、オイソレと用達に行くような具合には参りません。考えてみれば、高速で走る車が転倒したときのことを思えば、それが当然のことでしょう。ドイツ人らしい合理的、堅実な考えによるものだと思います。日本人も元来は真面目で順法精神の旺盛な人種であったように思います。思うに官庁、会社、その他集団の上役の者が従属の者に対して誤った寛容の気持の基に、間違いを大目に見過ごすと言う悪弊による「いいわ、いいわ」の蔓延のしからしむところではないかと、憂慮されます。然し乍ら、先日電車の前頭車に乗って運転士の信号を指差唱呼し時刻表を確認する姿をみて本来の鉄道人を見たようで我がことのように嬉しく思ったことでした。

## 過去から未来に轟け鉄輪

藤枝支部 戸田速雄

国鉄・JR等の大きな組織のなかで長年生活してきた私達には、誰しもが退職で組織から離れ個人となった時には、余所見には気遣いと競争には縁のない、年金を頼りの趣味とのんびりとした楽しそうに見える生活が始まる様に思える。事実我家では一国一城の主人となるが、頼り処もなく気心の許せる友の少ない、新人地域人としての淋しさは隠せない人間生活が始まる。やがて年月と共にこの生活状態にも慣れ次第に世間の環境に順応して来る頃には年令も重なり、次に頭に浮かぶのは、如何に元気で丈夫に長生き出来るかである、其れを考える様になると其処に立ちほだかるのは、己の意思に反しやうて来て避けて通れないのが年令による老化であり体力の衰えである。

更に恐れられるのは怪我とは違い築き上げてきた人格・プライド等総て失わせ惨めさに支配される病が殖えていると云われている。其の病は「ぼけ」「即ち」「認知症」である。過日地域の医療講座に出席して今迄の覚と違い、「認知症」は「脳の病気の一種」であり、早期発見し正しく治療すれば、症状が改善したり治る事もあるとの説明を受けた。「物忘れが醜い」「引き籠もりがちになる」等症例を幾つか挙げられたが、第三者から見れば可笑しいと思われるが、自分自身では許容範囲内であり異常とは思われない場合も多いと云う。問題は早期発見と云うよりも予防対策が重要とも云われた。日頃から脳を使い体を動かすことが最良のようだ。

国鉄・JRを離れ今迄と違った面での悩みや頭の使いすぎはストレスに繋がりが兼ねない鉄道OB会を始めとする同好の志の集まりや趣味・同好等活動に

友を求め、元気と明るさを貯え、自分の身の回りの事は出来る限り脳と体を使う心掛けが必要に感じた。老人に手を差し延べましょう”のモラル向上の趣旨に背く事にもなり心苦しい面も出て来るが、物欲しそうな素振りの前に”老いても子を従え”の精神が必要なのかも知れない。”轟け鉄輪”の歌声のように元気で頑張りたい。

## 短歌

そそっかしい無頓着そして忘れ性  
われに付いたる欠点いくつ  
独り居の話し相手にラジオ聞き  
ゆっくり酒を嘗める夕なり

浜松支部 原 哲

新駅舎完成なりて喜びや  
越し方夢よ快速はゆく  
召されし日思い出列車木製の

滋賀県支部 谷川虎太郎

常日頃せざりしなれば粥をたく  
水加減などみな妻にきく  
厨ごとすませて寝につく午後十時  
妻の枕の水も替えたり

津支部 岡 俊雄

とどまらず貨車の過ぎゆく風の中  
帽子おさえて我は佇ちいる  
さびしさを引き摺ることく走りゆく  
夜行列車の音遠ざかる

陶都支部 伊藤博司

宝剣岳望むホームへ坂ゆるき  
車椅子の道形あらはす  
踏切を過ぐる電車に客の影

確かめ見るが習ひとなりぬ

上伊那支部 竹内滋一

齢とれば遠くの娘折にふれ

気遣う電話「どう元気が」と

娘等と集いて鳥羽へ元且に

傘寿の宴悠季の里で

四日市支部 小川 勇

白梅に遅れて紅梅咲きにけり

その朝吾れの短歌入選

こんなにも幸せなのか世の中は

グルメと笑い番組多し

沼津支部 山田寿男

幼な日を坊主頭にバリカンで

刈りてくれたる叔父の訃悼む

万両の朱実忽ちに啄みて

白きを残す鴨の慧眠

裾野支部 池谷秀夫

露天風呂盆に浮べた雪見酒

一口飲んで甘露甘露と

八十路坂やと辿りて振り返り

しみじみ思う長き道のり

名古屋機関区支部 服部幸夫

俳句

山里のしづかな日なり栗の花  
落ち鮎に残る力のありにけり  
まっさらな風と囁く野の辛夷

富士支部 田中義作

公園に忘れ傘あり梅雨の明  
山門に葷酒は入れず黒揚羽  
新涼や湖を見下す喫茶店

浜松東支部 大倉照二

大枯野笑顔抱擁道祖神

七種粥無病息災湯気笑顔

春愁や出会いと別れ新年度

名古屋臨港支部 伊藤鈴登

藤村の歌碑に秋風馬籠宿

霜降や咳払いして小鳥翔つ

どんぐりの影やわらかき道の

西濃支部 高畑正良

菜の花に安全帽の黄が沈む

蝶になりすます花菜の明るさに

菜の花に蝶のひらがな遊びかな

津支部 濱口義徳

着飾りし曾孫達へのお年玉

万物の静かなりにて冬至かな

戦火無き世を喜びて除夜の鐘

春日井支部 秋田洋子

伊勢の秋夕日は山に海に月

妻の髪じつとみつむる初詣

初雪や庭の千両化粧して

苔むして独り佇む道標

薄紅をさして小太刀の音冴える

しづけさや己が天下の雨の路地

若き日の成人式に戻りたい

天と地をひと色にして雪積る

寒の水飲む一瞬の力かな

沼津支部 山田寿男

川柳

歩を合わすさくら吹雪へ共白髪  
支え合い札所をめぐる花の風

大府支部 藤井芳雄

寄り切りに何とも無念勇み足  
熱心なセールスマンが怖くなり

沼津支部 山田寿男

太閤のごとき夢見てくじをかう  
頭より口が勝手に動く歳

津支部 宮田孝也

平等の掟を守る夫婦仲  
歳末は買ったつもりで慈善鍋

四日市支部 小川 勇

良薬を無理に飲ませて熱を出す  
正面を少しずらして和を保つ

岐阜工事局支部 弓桁英二

消えそうな夢を抱いて喜寿迎え  
菜園の土を持たげる春の客

富士宮支部 渡辺定善

伸びる芽に明るい未来欲しい春  
プラス思考ハートはいつも青春だ

笠寺支部 稲塚正一

病むたびに飛距離ダウンで齢悟り  
思い付きすぐメモせずに直ぐ忘れ

鶴舞支部 加藤寿美夫

# 駅探訪

## 武豊線 緒川駅

●開業/明治33年3月1日  
●所在地/愛知県知多郡東浦町大字緒川字竹塚

知多半島の東側を走る武豊線。元は東京～大阪を中山道経由で結ぶ幹線鉄道建設のため、建築資材を武豊港から加納(現・岐阜)まで運搬する路線としてつくられた。後に幹線は東海道経由へと変更になり大府以北が東海道本線に組み込まれたため、武豊～大府間が武豊線となった。現在、起点は大府だが武豊発・大府方面行き列車番号には下り用が使用されている。



大正から昭和初期にかけての緒川駅では対岸の高浜から大量の陶器類(レンガ・瓦・土管等)が船で駅構内近くまで運ばれ全国に発送されていたという。近年名古屋への通勤・通学路線となり、宅地開発が着々と進められ、車窓からの風景も変貌を遂げた。周辺の道路整備に関連して平成7年、武豊線初の高架駅となる。

名古屋から直通の区間快速列車に乗ること30分弱、緒川に到着した。駅舎はかつての緒川城を模し、白壁が印象的なデザインとなっている。改札から東口へ出ると、右手斜め前方に巨大ショッピングモール(約1000の専門店が出店)が目に入った。駅前ロータリーには町内を一律100円で利用できる東浦町運行バス「うらら」が武豊線と接続するように待機していた。緒川は徳川家康の生母、於大の方(おだいのかた)ゆかりの地。駅西口から徒歩10分、緒川城址の一角には、緒川城で生まれた於大の方出生の碑がある。さらに、町の中央部を東西に流れる明徳寺川沿いの「生立ち広場」から乾坤院までの約2kmは「於大のみち」として整備しており、川の両岸には約400本の八重桜とともに、於大の方物語と東浦町史を記した陶板が敷かれてあった。

明徳寺川左岸を歩いていくと、花と緑に囲まれた於大公園へ出た。このはな館、芝生広場、オアシス池、薬木薬草園、マレットゴルフ場、バーベキュー広場、おもしろサイクル広場の他、遊具も揃っている。子ども連れでも楽しめる町民憩いの場として親しまれている。

駅探訪は、JR東海の社内誌「おれんじ」1月号から抜粋し再構成したものです。

### 「会報への寄稿、 文芸欄への投稿」要領



#### 1 「表紙写真」

会報誌の表紙に掲載する写真も会員から募集しております。表紙の写真が会員からのものでなくては会報誌としての意義がありません。応募写真は、それぞれの会報誌発行時の季節にあつたもので、画面に列車等が入っていません。なくても結構ですが、JR東海エリア地域内のものが好ましいと希望します。

カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジタルカメラ(解像度A4サイズで三〇〇DPI以上)送付別紙に所属支部、氏名、住所、電話番号を記入し添えて下さい。

なお、複数ご応募いただいた場合には会報編集委員会にて採用選考させていただきます。また、お送りいただきましたものうち、ポジフィルム、デジタルカメラ記録媒体については、後日お返しいたします。

#### 2 「支部だより」

OB会活動の原点は支部における活動であります。今後さらなる活性化のため、お互いにそれぞれの支部の運動方針や活動状況等を参考のために是非投稿して下さい。

なお、支部総会、支部クラブ活動、会員交流会、増収協力旅行、清掃美化運動、事故防止運動等支部からの「たより」を随時受付いたしております。テーマ、内容等は自由ですが、六百字目途にまとめ、執筆者氏名を明記し、状況のわかる写真をできるだけ一枚添えて下さい。

#### 3 「読者のひろば」

会員からの「随筆、情報、体験談等」の寄稿を受付けています。テーマ内容等は自由ですが、千二百字以内、挿絵、写真等の掲載希望は

いずれか一枚以内とし、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

#### 4 「絵手紙」

会員からの絵手紙の募集を随時受付けています。色彩が鮮明なもので会報発行の時事にあつたものを歓迎いたします。応募年月日、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

#### 5 「短歌、俳句及び川柳」

会員からの「短歌、俳句及び川柳」の募集を随時受付けています。応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は三句、川柳は二句以内限り、会報誌発行の時事にあつたものとします。記入の際に、冠部の「短歌」「俳句」「川柳」と朱書きし、応募葉書には、応募年月日、所属する支部、氏名(本名を記入する)及び住所、電話番号を明記して下さい。

#### 6 「掲載要領」

寄稿又は投稿された作品等は順次会報に掲載いたしますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節に合わせるなどとして、掲載が遅れる場合がありますからご承知下さい。なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。

#### 7 寄稿及び投稿先

〒四五〇〇〇〇二  
名古屋市中村区名駅三十三番十二  
キヨスク名駅ビル内  
東海鉄道OB会・会報編集係宛

### 編集後記

会報第九号(四月号)の編集と今後をお願い東海鉄道OB会も三年目に入り、会報も第九号を皆様にお送りすることができました。

「会員で作る会報」として定着して皆様から多くの投稿を頂いていること、JR東海及び関連グループからは毎回ニュースの提供を頂き、いろいろ参考となる会報とすることができまして会員一同感謝いたしております。

今後ともより多くの皆様から投稿を頂き、より充実した紙面にしていきたいと考えていますのでご協力をお願いします。

- 一 会報表紙の写真を積極的にお寄せ下さい。
- 二 支部だよりの、伊勢支部の趣味活動同好会活動を顧みての記事を是非お読み願ひ、支部活動の活性化の参考として下さい。
- 三 地方本部総会、支部総会が開催される季節です。その概要等を投稿して、お互いの参考として如何。

四 最近JR東海を退職し、OB会に入会された方々のフレッシュな投稿がありません。古参のOBのためにも遠慮のないご意見を伺いたく是非お待ちしております。

(杉浦)

### 東海鉄道OB会旗



発行 〒四五〇〇〇〇二  
名古屋市中村区名駅三十三番十二  
キヨスク名駅ビル内東海鉄道OB会本部  
発行人 杉浦 定行  
電話 〇五二一五六二六八〇(FAX兼用)